



東地中海地域ニュース

トルコ：シリア・イスラエル和平交渉の仲介

(7月30日付現地各紙)

30日付現地各紙は、トルコ仲介によるシリア・イスラエル和平交渉について、概要以下のとおり報じている。イスラエル・ハアレツ紙も和平交渉について報じている。

- 1.29日、第4回シリア・イスラエル和平交渉が開始された。
- 2.イスラエルからは、トゥルボヴィッチ (Yoram Turbowicz) 首相府主席補佐官及びトゥルジマン外交担当首相補佐官 (Sakom Turjeman) が出席する予定。イスラエル関係者は、「イスラエルは和平を真剣に望んでいる。このため我々は、和平交渉が直ちに両国かの直接交渉に発展することを期待する」と発言した。
- 3.28日、ムスタファ (Imad Mustafa) 在米シリア大使はワシントンにおいて、「我々としては両国が相互を認知し、交渉を通じて戦争状態を終結できることを望んでいる」と述べた。
- 4.両国間の和平成立の可否はイスラエルがゴラン高原からの撤退を受け入れるか否かであるとみられる。
- 5.ハアレツ紙は、ここ最近シリアが、イスラエルとの対話に関して真剣に行動に移していることをイスラエル政府筋が述べていることを伝えた。イスラエル政府高官は、シリアがイスラエルとの交渉の場にアメリカ代表が参加すること、またその後イスラエルとの直接交渉に移行することに関心があると述べた。だが同交渉は、ヨーロッパからの参加も考慮に入れられている。
- 6.オルメルト首相は、シリアの行動に大いに満足しており、交渉におけるシリアの意図に関して前向きなシグナルを注視している。ワシントンを訪れたアサド・シリア大統領の腹心であるサミ・タアキ教授は、本年末までに合意に達することは可能であり、既に安全保障に関する問題の95%は結論が出ている」と発言したが、オルメルト首相および補佐官は重要な点があると述べている。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799